年間授業計画 新様式例

情報 科目 情報 II ^{単位数: 2} ^{単位} 高等学校 令和 5 年度(2 学年用) 教科 情報

情報 の目標:

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

科目 情報Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
て問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付ける とともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法	情報に関する料学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を 情報とその能が付きの現点から段え、複数の情報を拡付けれた たな趣味を見いだす力を養うとともに、問題を発見、解決する各 段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善すること で、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	マナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとす る態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元:情報社会の連展 「加度欠好報」 「物業なの変化について学ぶ [20考力、判断力、表現力等] 情報社会の選集にり期待される社会について学ぶ 「学びに向かう力、人間性等] 情報社会の連集に対して生じる不安について学ぶ 情報社会の連集に対して生じる不安について学ぶ	(1) 情報社会の進展と知的活動の変化 (2) NT-in-in-iz もの社会の変化 (2) NT-in-in-iz もの社会の変化 (3) クラウドサービスの利用 (4) 法と観を整備 (6) スピイアと様々なコンテンツ (6) コミュニケーションの多様化 (7) コンテンツの印象② (8) コンテンツの印象②	【知識・技能】 情報社会の変化について理解している 情報社会の変化について理解している 【思考・判断・表現】、の報告を持ちまる変化を説明することができる 【思考・判断・表現】、の報告を持ち、 「主教性会学をはなり報告を表現している 情報社会の選集による社会の変化に興味や関心を売している 情報技術が連្	0	0	0	8
1 学 期	第三、情報ときュリティ 【知識及び技能】 「報報とキュリティの要素について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 情報セキュリティを高めるための技術について学ぶ。 【そびに向かう力、人歌性等】 「情報の不正利用に対する影響を学ぶ。	(1)情報セキュリティ (2)サイバー記葉との報 (2)サイバー記葉との報 (4)付替年セニックの確保 (5)不正なソフトウェア (6)不正なソフトウェア (7)ネットショッピング・ランサムウェア (6)対策がよりアイを守ち技術 (9)ケーススタディ (1)付替セキュラィ事業体験	【知識・技能】 ・情報セキュリティの必要性と多要単について理解している。 【思考・刊期・美規】 ・情報セキュリティの3要単について説明することができる。 ・以込むプロックボェーンといった技術により保たれる情報セキュ 【主た的に学習に取り組む機能】 ・情報セキュリティに対する対策 を講述される「情報セキュリティに対する対策 を講述とよりとしている。	0	0	0	10
200	単元:データサイエンス 【知識及び技能】 ビッグデータとデータサイエンスの概念について学 「思考力、判断力、表現力等」 データの種様で必須、成型について学ぶ データを用いた同胞解析について学ぶ 「データで表現った。人能性等」 「現でに向かう力、人能性性が、このデータによる表現やその意義について学ぶ	(1) 表計算ソフトの使用法① (2) 素計算ソフトの使用法② (3) 素計第ソフトの使用法③ (3) 表計第ソフトの使用法③ (5) での受しません。 (6) ビッグデータとプライバン一問題 (6) デック吸出と変数 (7) データの整理と変数 (7) データの整理と変数 (7) データの整理と変数 (7) データの参加と変数 (7) データの参加と変数 (7) データの参加と変数 (7) データの分析と可模化② (10) 1学期のまとう (10) 1学期のまとう	【知識・技能】 ・ データサイエンスの要素技術や表社会における応用について理解している。	0	0	0	10
	第三、デークサイエンス② 「田商及2年第日 ・商を図と指揮について学ぶ ・優美のサルトグラムについて学ぶ 「展問推定について学ぶ 「展用推定について学ぶ 「優生の大・開始について学ぶ 優生図と指揮について学ぶ 便変労者とヒストグラムについて学ぶ	(1) 散布図と相関 (2) 最小、電池と相関係数 (2) 最小、電池と相関係数 (4) 区間推定 (4) 区間推定 (6) 分挿と形定 (6) 分挿と形定 (7) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	【知識・技能】 ・相相およびゲータの教布図による可視化について理解し、表針算 グナルを用いてその表行ができる。 ・複数分かなセンストゲラムについて理解し、表針算ソフトを用いて ・理像がかセンストゲラムについて理解し、表針算ソフトを用いて 「選手・制物・表型」 ・相関関係製金ので、説明できる。 ・信頼区側の考え方を理解している。	0	0		8
2 学期	単元: 機械学習 【知識及び予整】 【知識及び予整】 ・ 投資を ・ 投資を ・ 投資を ・ 投資を ・ は同様・ 多年工芸師・ 重田様について学ぶ (思考力、 新版力、 表現力等) ・ 機大学等の発送といい、 優について学ぶ ・ 単四様・ 多年工芸師・ 重田様について学ぶ 「本文にから力、人 民性学 ・ そのほかの分類手法について学ぶ。	(1) 機械学習の育豪と必要性 (2) 教師あり学習と教師なし学習 (3) 都田崎・多年大阪師・薫田碑 第二日 東京 大阪市	【加路、技能】 ・機能学習の概念について資格している。 ・機能学習の概念について資格している。 ・機能学別の概念に学習によるされぞれの間整解決について資体例を にしながら規則できる。 【思多・判断・表現】 ・「上海」によるれぞれの問題解決について資体例を 「上海」に対して、「上海」によるれぞれの問題解決について資体例を 「上海」により組むを表現した。 「上海」に、「一海」によるれぞれの問題解決について資体の 「上海」に、「一海」に、「	0	0	0	10
	単元: ブログラミング言語 (JavaScript) 「知識及び比接動! 」 PawaScriptのブログラムの基本的な文法を学ぶ ・ 簡単な手限のブログラムを学ぶ (番単な手限のブログラムを学ぶ (書かし、特別の、現代力等) 「本がに向かう力、人間性等! ・ 衛星な手期のブログラムを学ぶ	(1) JavaScriptとは (2) プログラミングと変数、演算子 (3) プログラミングと変数、演算子 (3) プログラミング・動物構造① (3) 変数定と類様、明示的な型変換 (6) 技术配列位 (7) 1技术配列位 (3) 多水水配列位 (3) 多水水配列位 (10) 2学期のまとめ	【知識・技能】 ・JavaScriptのブログラムの文法と関係している。 ・JavaScriptのブログラムの文法と関係している。 「思考・判断・表現」 「職権な構造のプログラムの文法に従って、正しく記述できる。 「思考・判断・表現」 ・基本な構造のプログラムを作成することが ・ 「主体的に学習に扱り組む機能】 ・ ブログラムを修正して、簡単なコンテンツを作成しようとしている。	0	0	0	10
	単元:プログラミング言語(Python) 【知識及び技能】 「Pythonのプログラムの基本的な文法を学ぶ ・簡単な手順のプログラムを学ぶ 「個単な手順のプログラムを学ぶ 「毎単な手順のプログラムを学ぶ 「全がに向かった)、	(1)Pythonの基礎 (2)Pythonの開発環度と支法 (3)関数の定義方法 (4)制御解書①(比較演算子) (5)制御構造①(比較演算子) (6)リステンルを用いた演算 (7)オブシュクトの創作 (8)外部ライブラリの諸用	19mm・火砂・ 「Pythonのプログラムの文法を理解している。 ・Pythonのプログラムの文法に従って、正しく記述できる。 ・プログラムの関係を企作機のは、プログラム条行枠の変数の 変化を理解している。 変化を理解している。 ・最終な構造のアル・ゴリズムを考えてプログラムを作成することが できる。 ・プログラムを修正して、簡単なコンテンツを作成しようとしてい	0	0	0	8
3 学期	果元: 「加減及び技能」 こさまざまた情報システムについて学ぶ 確定システムの不私合が及ばす影響や評価指標を を構造システムの開発プロセスについて学ぶ。 「個数システムの開発プロセスについて学ぶ。 でもまざまた情報システムについて学ぶ。 「全までは、「一般を表現を表現している。」 「全なにのから力」、人間性等) 「本文にのから力」、人間性等) 「他数システムの不私合が及ばす影響や評価指標を を表現して学ぶの不私合が及ばす影響や評価指標を では、「他報システムの用発プロセスについて学ぶ。 「情報システムの開発プロセスについて学ぶ。	(4) 社会の中の情報システム (2) 情報システムの分類 (3) 情報システムの開発 (4) 設計 手座 (3) Nabシステムの担税 (6) Nabシステムの仕組み (6) 情報目のまとめ	知識・北海) ・ 主意主化報システムの仕組みを理解している。 ・ 情報システムの不利合が反ぼす影響や評価指揮を理解している。 ・ 情報システムの不利合が反ぼす影響や評価指揮を理解している。 ・ 情報システムの平利合が反ばす影響を考え、社会生活を便利にしよう ・ こことなる。 ・ 情報システムの不利合が反ばす影響を考え、評価指揮を高めるた の力力法を考える利益・影響と考え、評価指揮を高めるた の力法を考える利益・影響と考え、評価指揮を高めるた の力法を考えるリルの一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	0	0	0	6
							合計 70